



サンシュユ



伊勢湾沖の朝焼け



オオバヤシャブシ



スミレ



TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支の竜（龍・辰・たつ）についての話題を。

竜（龍）は、蛇又は蜥蜴^{とかげ}に似た中国伝説上の生物です。古来神秘的な存在として位置づけられ、水中や地中に棲み、竜巻となって天空に昇り自在に飛び回ると言われています。

「史記」以来五爪の竜は中国皇帝のシンボルとして扱われてきました。

「竜に九似あり」とされ、角は鹿、頭は駱駝^{らくだ}、眼は鬼あるいは兎^{うさぎ}、身体は蛇、腹は蜃^{しん}、背中の鱗は鯉^{うろこ}、爪は鷹^{てのひら}、掌は虎、耳は牛にそれぞれ似ており、口辺に長髯^{ひげ}をたくわえ、喉下^{のどした}には一尺四方の逆鱗^{げきりん}があり、顎下^{あごした}に宝珠^{ほうじゅ}を持っていると言われている。

十二支に各々動物が当てはめられた際、唯一採用された伝説上の生物ですが、なぜ竜だけが想像上の動物になったのかははっきりしません。



唐・宋代の端溪硯

が、竜の起源は、古代に長江や漢水に実在したワニの一種が寒冷化により絶滅した後、伝説化したものという説があ

り、これは現在残っている竜の図像の歴史的変化からも窺^{うかが}えるとのこと。

日本の竜については、様々な



雲龍図

文化とともに中国から伝来し、元々日本にあった蛇神信仰と融合し、日本神話に登場する八岐大蛇^{やまたのおおろち}も竜の一種とされることがあります。他にも水の神として各地で信仰の対象となっています。灌漑技術が未熟だった時代には、旱魃^{かんばつ}が続くと、竜神に食べ物や生贄^{いけにえ}を捧げたり、高僧が祈るといった雨乞いが行われていました。有名なものでは、陰陽道で聖なる地といわれる竜穴の地である神泉苑^{しんせんえん}（京都・二条城南）で弘法大師が祈りを捧げて善女竜王^{ぜんによりゅうおう}を呼び、雨を降らせたという逸話があります。

竜に因^{ちな}んだことわざでは、「登竜門^{とくりゅうもん}」、「竜頭蛇尾^{りゅうとうへい}」、「伏竜鳳雛^{ふくりょうほうすう}」、「画竜点睛を欠く^{かりょうてんせい}」などがあり、竜には英雄・豪傑、大変優れた人物などの意味があります。

今年は、昇竜のように景気も登り調子になり、皆さんにとってよい年になりますようお祈り申し上げます。（参考：ウィキペディア）



「みえ環境フェア2011」を開催しました

三重県における地球温暖化防止対策を推進するため、昨年12月11日（日）、津市のメッセウイング・みえにおいて「来て、見て、学ぼう！三重の環境活動」をテーマに「みえ環境フェア2011」を開催しました。

当日は、ブース出展者56団体による活動紹介や体験・工作コーナーのほか、「3・11後の日本のエネルギー戦略～地域からのエネルギー変革の可能性～」のテーマで特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所の飯田哲也所長の講演があり、大勢の方が聴講されました。

また、同会場内において、「2011年度みえ環境活動賞」の表彰式があり、環境活動に功績があった5団体が鈴木英敬三重県知事から表彰状を授与されました。

午後からみえ環境活動賞の受賞者による活動報告が行われ、取組団体の温暖化防止にかける思いが語られました。

大勢の来場者が、体験・工作コーナーや電気自動車展示コーナー、自然エネルギーコーナーなどを訪れ、太陽光発電システムや風車模型・風車ジオラマ、三重県内における地球温暖化防止や二酸化炭素抑制活動の状況を「見て」「聞いて」「体験」していただきました。



お問い合わせ先 三重県地球温暖化防止活動推進センター

tel 059-245-7517 fax 059-245-7518
ホームページ <http://www.mec.or.jp/ondan/>



平成23年度水道水質管理セミナー開催のお知らせ

当事業団では、水道水質の管理業務に携わっている皆様及びその関係者を対象に、水道水質管理に関する新しい情報提供を目的とした「平成23年度水道水質管理セミナー」の開催を計画しています。

今年度は、三重大学工学部の太田清久教授を招き、「最近の話題から（放射能等）」の題目で最近の注目度が高い放射性物質に関する話題などをご講演していただく予定です。ま

た、三重県環境森林部水質改善室副室長の浅沼利幸様から、平成24年4月施行予定の「水道法施行規則の一部改正等について」に関するご講義をしていただく予定です。

開催日時、ご参加申込方法等につきましては、下記の内容になっております。内容等にご質問がございましたら、申込先までお問い合わせ下さい。

開催日時：平成24年1月24日（火） 13時00分～16時30分

開催場所：財団法人 三重県環境保全事業団 2階 大会議室（定員：60名）

参加費：無料

申込方法：申込書（当事業団管理チームまでにお問い合わせ下さい）に必要事項を記載の上、下記宛先にFAX又は郵送にてお申し込み下さい。

申込先：〒510-0304 三重県津市河芸町上野3258番地

財団法人 三重県環境保全事業団 環境分析課管理チーム宛

TEL. 059-245-7508 FAX. 059-245-7516

お問い合わせ先 調査部 環境分析課

フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516
ホームページ http://www.mec.or.jp/k_bunseki/



カドミウムの環境基準の見直しについて

平成23年10月27日に、環境省から公共用水域の水質汚濁に係る環境基準及び地下水の水質汚濁に係る環境基準の改正が告示され、以下のとおりカドミウムの環境基準が変更されました。

	改正前の基準値	改正後の基準値
公共用水域の水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準	0.01mg/L以下	0.003mg/L以下
地下水の水質汚濁に係る環境基準	0.01mg/L以下	0.003mg/L以下

お問い合わせ先 調査部 環境分析課 フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516
ホームページ http://www.mec.or.jp/k_bunseki/



「自然環境基礎講座」の実施報告

当事業団では、将来、生きものを中心とした自然科学分野における専門家を目指す若い人たちに、勉強の場を提供するための「講座」を開設し、開催しました。

対象分野は、哺乳類、鳥類、爬虫・両生類、昆虫類、クモ類、魚類、貝類・甲殻類、植物、地形・地質の9分野とし、中学生から大学生までの12名が参加し、平成23年8月に津市及び紀北町において、



各分野の調査方法などを学ぶ現地研修を行いました。また平成23年10月には、当事業団において調査結果をとりまとめる屋内研修を行いました。



当事業団では、このような講座などを通して、若い人たちが生きものを中心とした自然科学分野にさらなる興味を頂いてくれることを喜びと感じ、これからも各種講座・研修などを企画していく予定です。

お問い合わせ先 調査部 環境調査課 フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7509 fax 059-245-7519

ISOに関する情報交換会を開催しました

国際規格審査登録センター（ISC）では、企業の皆様方のISOへの取組み事例の発表や、マネジメントシステム認証制度に関する情報をご紹介する情報交換会を行っており、去る平成23年10月28日に四日市市文化会館にて、第20回ISO情報交換会を開催しました。

はじめに、公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）井口新一専務理事より、中小企業へ向けた「ISOマネジメントシステム認定・認証制度とJABの活動」のテーマで、内部監査の有効活用など、登録事業者様が抱えている課題の取組みについてご紹介いただきました。

次に、株式会社百五経済研究所 永木良明主任研究員より、「事業継続計画（BCP）（Business Continuity Plan）構築とISO」のテーマで、震災や災害に備えるシステム構築例やISOの活用についてご講演いただきました。

当日の資料は、ISCホームページにも掲載しております。

今後も定期的に情報交換会を開催しますので、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。



お問い合わせ先 国際規格審査登録センター（ISC） tel 059-245-7514 fax 059-245-7524
ISC ホームページ <http://www.mec.or.jp/iso/isc/>



ユズリハ

葛山博次著
「万葉集の植物」より

初夏に、黄緑色の小さい花房をつけます。
花はがくも花びらもない裸花です。

ユズリハは新葉の成長後に、旧葉を落すので、譲り葉といひ、ダイダイと共に新年の飾りとして用いられています。エゾユズリハ、ヒメユズリハ、アオジクユズリハなどがあります。

「あの鳥は、天武天皇がお元氣だったころの昔を恋い焦がれているのでしようか。ユズリハが茂っている御井の上を鳴きながら渡っていきます。」この歌は、吉野に旅した皇子が、かつて父（天武天皇）の恋人であった額田王におくった歌です。皇子の心づかいが伝わってきます。

弓削皇子（巻二の一）

いにしへに 恋ふる鳥かも 弓絃葉の
御井の上より 鳴き渡り行く

万葉人の
愛した草木

その二十六



平成23・24年度 ISO 研修参加者募集!!

ISO14001/ISO9001 内部監査員養成セミナー〈2日間コース〉

対象 新しい内部監査員の養成、ISOコンサルタントを目指す方 等

内容 規格要求事項の解説、内部監査の説明、内部監査の場面を想定したケーススタディ

開催月日

ISO14001 内部監査員養成セミナー

平成24年2月9日(木)・10日(金)	平成24年5月17日(木)・18日(金)
平成24年8月23日(木)・24日(金)	平成24年11月8日(木)・9日(金)
平成25年2月14日(木)・15日(金)	

ISO9001 内部監査員養成セミナー

平成24年6月7日(木)・8日(金)	平成24年12月6日(木)・7日(金)
--------------------	---------------------

開催場所 財団法人 三重県環境保全事業団
河芸社屋2階大会議室

定員 30名

講習時間 9:00～17:00

参加費 42,000円/1名
(昼食付き、消費税含む)

お問い合わせ先 調査部環境調査課 ISO研修担当 tel 059-245-7509 fax 059-245-7519

■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

■三田最終処分場（埋立処分事業）

〒510-0841 四日市市三田町 9 番地の地先
tel 059-349-5016 fax 059-346-6500

■小山リサイクルセンター（破碎処理）

〒512-1102 四日市市小山町字大犬谷 3258
tel 059-328-2567 (代表) fax 059-328-2967



● 事業団へのご意見・ご要望または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。e-mail: mec@mec.or.jp